

令和7年度

昭島市立昭和中学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	【目指す学校像】	【目指す児童・生徒像】	【目指す教師像】
	夢への挑戦 ～ 広げよう可能性	高めよう創造性	～
	～	～	～

(1) 知・徳・体をバランスよく育む学校。(2) 人間関係・生活環境が暖かかった安心・安全な学校。(3) 元気な挨拶や歌声が響く活気ある学校。(4) 家庭・地域とのつながりを大切に作る学校。
 (1) 自ら考え学ぶ生徒。(2) 自分も他人も大切にすることができる生徒。(3) 自分を表現し一つ一つの思いに認め合える生徒。(4) 社会性が身に付いている生徒。
 (1) 豊かな人間性を備え、生徒の成長を促す教師。(2) 生徒と正面から向き合い、信頼される教師。(3) 授業力が高い教師。(4) 組織の一員として学校運営に貢献できる教師。

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組目標	評価	成果指標	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学びに向かう力と人間性を養う。	教師・生徒共に授業規律の維持・向上を図る。 思考力・判断力・表現力等の育成を図り、自分の考えを他者に伝える力を育む。 主体的に学習に取り組む態度の育成と家庭学習の定着を図る。	①全授業で昭和中学校授業スタンダードの実践徹底。 ②話し合い活動と発表を全授業での実施。 ③ICTを活用した表現方法の工夫。 ④シラバスの作成。 ⑤シラバスの基づく定期テスト前の学習方法の確認の実施。	4 授業スタンダードによる働きかけを毎時間実施。 3 授業スタンダードによる働きかけをおおむね実施。 2 授業スタンダードによる働きかけを時々実施。 1 授業スタンダードによる働きかけがほぼ未実施。 4 ICT活用から思考力を育む授業を毎時間実施。 3 ICT活用から思考力を育む授業をおおむね実施。 2 ICT活用から思考力を育む授業を時々実施。 1 ICT活用から思考力を育む授業がほぼ未実施。 4 家庭学習推進の指導を確実に実施。 3 家庭学習推進の指導をおおむね実施。 2 家庭学習推進の指導を時々実施。 1 家庭学習推進の指導がほぼ未実施。	4 「楽しく規律がある授業である」生徒が90%以上。 3 「楽しくも規律がある授業である」生徒が70%以上。 2 「楽しくも規律がある授業である」生徒が50%未満。 1 「楽しくも規律がある授業である」生徒が50%未満。 4 「表現力がついた」と答える生徒が90%以上。 3 「表現力がついた」と答える生徒が70%以上。 2 「表現力がついた」と答える生徒が50%以上。 1 「表現力がついた」と答える生徒が50%未満。 4 家庭学習の時間が4時間以上が最も多い。 3 家庭学習の時間が3時間未満が最も多い。 2 家庭学習の時間が2時間未満が最も多い。 1 家庭学習の時間が1時間未満が最も多い。 4 学校はあたたかい雰囲気であると感じる生徒が90%以上。 3 学校はあたたかい雰囲気であると感じる生徒が80%以上。 2 学校はあたたかい雰囲気であると感じる生徒が60%以上。 1 学校はあたたかい雰囲気であると感じる生徒が50%未満。 4 「道徳の授業を生活に活かしている」生徒が80%以上。 3 「道徳の授業を生活に活かしている」生徒が70%以上。 2 「道徳の授業を生活に活かしている」生徒が50%以上。 1 「道徳の授業を生活に活かしている」生徒が50%未満。 4 「落ち着いた安心した学校生活が送れている」生徒が90%以上。 3 「落ち着いた安心した学校生活が送れている」生徒が80%以上。 2 「落ち着いた安心した学校生活が送れている」生徒が70%以上。 1 「落ち着いた安心した学校生活が送れている」生徒が70%未満。 4 体力テストで2つの学年が都標準以上。 3 体力テストで1つの学年が都標準以上。 2 体力テストで2つの学年が都標準未満。 1 体力テストで1つの学年が都標準未満。 4 「防犯の知識が身につく意識が高まった」生徒が90%以上。 3 「防犯の知識が身につく意識が高まった」生徒が80%以上。 2 「防犯の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%以上。 1 「防犯の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%未満。 4 「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が90%以上。 3 「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が80%以上。 2 「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%以上。 1 「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%未満。 4 「夢を描き、将来を考えている」生徒が90%以上。 3 「夢を描き、将来を考えている」生徒が70%以上。 2 「夢を描き、将来を考えている」生徒が50%以上。 1 「夢を描き、将来を考えている」生徒が50%未満。 4 「先生は相談に乗ってくれると答えた生徒が90%以上。 3 「先生は相談に乗ってくれると答えた生徒が80%以上。 2 「先生は相談に乗ってくれると答えた生徒が70%以上。 1 「先生は相談に乗ってくれると答えた生徒が70%未満。 4 「先生は一人一人を信頼している」と答えた生徒が90%以上。 3 「先生は一人一人を信頼している」と答えた生徒が80%以上。 2 「先生は一人一人を信頼している」と答えた生徒が60%以上。 1 「先生は一人一人を信頼している」と答えた生徒が60%未満。					
豊かな心	全教育活動を通じて、人権教育・心の教育を推進し、自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基礎となる豊かな人間性を育む。	全教育活動を通じて生徒自身が自分を表現し、互いに認め合えるようにする。 考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。 未然防止に努めながら、いじめへの適切な対応を充実させる。 体育的な活動や効果的の推進し、体力向上と生活習慣の向上を図る。	①安全集会による未然防止の指導の実施。 ②毎月の生活アンケートの実施と校内委員会の定期実施。 ③安全集会による未然防止の指導を十分に実施。 ④いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑤いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑥いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑦いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑧いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑨いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑩いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑪いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑫いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑬いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑭いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑮いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑯いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑰いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑱いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑲いじめへの連携した早期対応が不十分。 ⑳いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉑いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉒いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉓いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉔いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉕いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉖いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉗いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉘いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉙いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉚いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉛いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉜いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉝いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉞いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㉟いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊱いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊲いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊳いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊴いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊵いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊶いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊷いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊸いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊹いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊺いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊻いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊼いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊽いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊾いじめへの連携した早期対応が不十分。 ㊿いじめへの連携した早期対応が不十分。	4 積極的な体育活動への参加に向けた指導を十分に実施。 3 積極的な体育活動への参加に向けた指導をおおむね実施。 2 積極的な体育活動への参加に向けた指導がやや不十分。 1 積極的な体育活動への参加に向けた指導が不十分。 4 計画的な安全指導を十分に実施。 3 計画的な安全指導をおおむね実施。 2 計画的な安全指導が不十分。 1 計画的な安全指導が不十分。 4 計画・実施とにも不十分。 3 予防と対応の指導を毎月実施。 2 予防と対応の指導をおおむね実施。 1 予防と対応の指導が不十分。 4 計画的な進路指導を十分に実施。 3 計画的な進路指導をおおむね実施。 2 計画的な進路指導が不十分。 1 計画的な進路指導が不十分。 4 生徒や保護者に寄り添う指導を十分に実施。 3 生徒や保護者に寄り添う指導をおおむね実施。 2 生徒や保護者に寄り添う指導を時々実施。 1 生徒や保護者に寄り添う指導が不十分。 4 特別支援教育の啓発と推進を十分に実施。 3 特別支援教育の啓発と推進をおおむね実施。 2 特別支援教育の啓発と推進を時々実施。 1 特別支援教育の啓発と推進が不十分。						
健やかな体	心身共にたくましく、健康な生活の育成を図り、健康・安全で活気ある生活を送るための基礎を培う。	疾病や事故などの未然防止の指導を充実させ、予防に向けた知識と実践力を高める。 3年間の系統だったキャリア教育の実施から、夢や目標に向けて努力する力を養う。 生徒個々に寄り添い、生徒自ら適切に進路を選択し、努力できる力を養う。 生徒理解に基づき、個々の配慮が必要な生徒への支援を充実させる。	①保健だまりを用いた熱中症や感染症の予防の指導の実施。 ②適切な連絡指導計画の作成。 ③計画的で丁寧なキャリア教育の推進。 ④生徒の個別指導の計画的な実施。 ⑤三者面談による保護者との連携。 ⑥特別支援教育の啓発と推進を十分に実施。 ⑦特別支援教育の啓発と推進をおおむね実施。 ⑧特別支援教育の啓発と推進を時々実施。 ⑨特別支援教育の啓発と推進が不十分。	4 体力テストで2つの学年が都標準以上。 3 体力テストで1つの学年が都標準以上。 2 体力テストで2つの学年が都標準未満。 1 体力テストで1つの学年が都標準未満。 4 「防犯の知識が身につく意識が高まった」生徒が90%以上。 3 「防犯の知識が身につく意識が高まった」生徒が80%以上。 2 「防犯の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%以上。 1 「防犯の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%未満。 4 「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が90%以上。 3 「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が80%以上。 2 「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%以上。 1 「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%未満。 4 「夢を描き、将来を考えている」生徒が90%以上。 3 「夢を描き、将来を考えている」生徒が70%以上。 2 「夢を描き、将来を考えている」生徒が50%以上。 1 「夢を描き、将来を考えている」生徒が50%未満。 4 「先生は相談に乗ってくれると答えた生徒が90%以上。 3 「先生は相談に乗ってくれると答えた生徒が80%以上。 2 「先生は相談に乗ってくれると答えた生徒が70%以上。 1 「先生は相談に乗ってくれると答えた生徒が70%未満。 4 「先生は一人一人を信頼している」と答えた生徒が90%以上。 3 「先生は一人一人を信頼している」と答えた生徒が80%以上。 2 「先生は一人一人を信頼している」と答えた生徒が60%以上。 1 「先生は一人一人を信頼している」と答えた生徒が60%未満。						
輝く未来	学習や生活の基礎として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。	生徒理解に基づき、個々の配慮が必要な生徒への支援を充実させる。	①特別支援教育の啓発と推進を十分に実施。 ②特別支援教育の啓発と推進をおおむね実施。 ③特別支援教育の啓発と推進を時々実施。 ④特別支援教育の啓発と推進が不十分。	4 特別支援教育の啓発と推進を十分に実施。 3 特別支援教育の啓発と推進をおおむね実施。 2 特別支援教育の啓発と推進を時々実施。 1 特別支援教育の啓発と推進が不十分。						